

萩島剣道クラブ



平成17年度越谷市小学生大会団体優勝（堀川薫・朝倉紀幸・内田貴之・高橋佑樹・堀川慶）、青少年大会越谷代表（堀川薫・堀川慶・朝倉謙人）

越谷市剣道連盟創立50周年おめでとうございます。
 当萩島剣道クラブも本年創立30周年を迎えることとなりました。これも偏に越谷市及び越谷市剣道連盟を始めとします皆様方からの御支援御厚情の賜物と感謝申し上げます。

現在、萩島剣道クラブは、小学生等会員を主体とし、中学生から大人は慶武館として活動しております。

クラブの変遷及び概要を紹介致します。

【変遷】

〔設立時（昭和50年～52年頃）〕

萩島剣道クラブは、越谷市の肝いりで各地区の公民館活動の一環として、昭和50年9月、萩島公民館で産声を上げました。

体育館で御指導を頂きました。

基本を中心にのびのびとした技、剣道形等も取り入れ、更に、保護者との連携を大切にされ、保護者の参画するクラブの育成に御尽力頂きました。

現在、当クラブが保護者の御協力がスムーズに得られますのも、先生に培って頂いた土壌の賜物と感謝申し上げます。

また、この時期に、パートナーとして沼田弘毅先生（警視庁勤務）、中尾新一先生（オムロン勤務）が、子供と供に剣道を始めたり、再開したりで、子供たちを愛情豊かに育て頂きました。

〔転換期（昭和62年～平成2年頃）〕

しかし、先生も職務多忙で指導がままならなくなり、保護者や高校生が指導する事態となり、保護者から、市の連盟に指導者の要請を行った結果、市連盟理事の村岡秋生先生（教士7段）が選ばれ、62年頃から指導に当たって頂きました。先生は試合実績もあり、指導も上手で、子供たちも早期に上達しておりました。

私たち夫婦は、62年に当越谷市に移転して参りました。村岡先生とは10年来、日本武道館の武道学園で夫婦一緒に剣道を学び、公私共に御厚誼を頂いた先輩でしたので、先生から、指導の協力依頼があり、時間の許す限り稽古や合宿等に参加しておりました。

〔摸索期（平成2年～平成9年頃）〕

ところが、平成2年7月に先生が郷里の鹿児島島に転勤と

当時の公民館長の石井知章先生（現浄山寺御住職）に、先生自らが行って居ると供に剣道を普及頂きました。

設立当初は、越谷市剣道連盟の重鎮であられた豊田正長範士8段始め、中野實、錦野猷爾各教士7段等著々たる先生方が指導に赴いて頂き、入部希望者も数多く殺到し、100名を数える時期もあり、公民館では無理で、萩島小学校体育館の雑壇も使用するという盛況振りであったと聞き及んでおります。

〔創成期（昭和53年～61年頃）〕

その後、定期的指導者がいないことから、53年春より越谷市役所に勤務の大橋敏夫先生（現監査委員事務局局長）に、激務の合間をぬって毎週土曜日の午後、

なり、後は頼むということで、去っていかれました。当時は、5・3・1歳の3人の子供を抱え、私も本社勤務で週に3日は深夜の1時に帰宅するような激務でしたので、自ずと妻と中尾先生更に高校生の伊藤聡史君に負担がかかってきました。

しかし、この当時も良き保護者の皆さんにも恵まれ、細々ではありますが継続して参りました。

中尾先生には、12年暮れに長崎の諫早に帰郷される



昭和58年頃 大橋敏夫先生・中尾新一先生を囲んで



◎ 日本武道館 全日本少年武道錬成大会（平成5年7月、於日本武道館） 平成5年7月24日



恩師、中村毅範士8段と共に（平成5年1月日本武道館武道始め）

まで御指導を頂きました。

おこがましいのですが、私共夫婦の先生である大野操一郎・中野八十二・森島健男・小森園正雄・中村伊三郎・湯野正憲・岡憲次郎・加藤浩二・中村毅・大田忠徳の各先生等から剣道の本筋、本物を後世に伝えなければならぬとの、御教導を頂いておりましたし、私は多摩市で、妻は全日本剣道連盟事務局で武道学園の子供たちに指導の手助けをしておりましたので、微力ではございますが、自らの子供の躰と共に指導に没頭していった次第です。

そういう中で、平成4年から警視庁の己ノ瀬弘司先生（競歩の日本記録保持者）の加入により、指導体制の強化、また基礎体力を強化（通称ミノセ体操）し、稽古日も2回にし、夕方の稽古に変えました。また、四書五経、日本・中国の先哲等語録、剣道理念等、修練の心構えの素読等も取り入れ、日本剣道形も学ばせました。

それでも足りないところは対外試合を増やし、年に3回程度だったものを15～20試合程にしました。

この頃、一番辛かったのは、礼儀と基本を大事にし、大きくまっすぐな打ちで稽古を増やし、対外試合に連

れて行っても、1・2回戦で負けてしまって、保護者等からため息をつかれる時は、何ともいえない挫折感が訪れ、指導者の空念仏としか映らないのではと自信を喪失しそうな時も幾度かありました。

しかし、妻、富士恵の好きな言葉の「こつこつ」（湯野正憲先生の「兀々地」とやっている）と神の計らいがあるのか、その後、徐々に子供たちも力をつけてきて、7年には市の小学生大会で準優勝しました。しかし、大きな大会で優勝できる程の力はありませんでした。

この約10年の間、子供を三人抱え、一人の指導の時間が相当あり、初心者他20～30名の会員を指導してくれた妻には感謝に堪えません。また、この多忙な中でも、家庭婦人を中心とした稽古会（現越城会）の指導も頼まれ、本年まで15年間会長としてやってきました。

自らも全国家庭婦人大会に5回の出場を果たし、更に監督、また、昨年の埼玉国体では、成年女子のコーチに任命され優勝の縁の下の一端を担ってくれました。夫としてではなく、会長として御礼を申し上げます。

〔上昇期（平成9年～現在）〕

その後、元立つ指導者の確保、上達、また、中・高校生の継続を念頭に、大人の稽古会を平成9年から

始め、平成12年に「慶武館」と命名し、継続しております。（別頁の慶武館を参照下さい。）

これが功を奏したのか、11年以降堀川智子先生（家庭婦人・大学選手権・インターハイ優勝者・筑波大）、内田雅之先生（高千穂高・法政大）、石井宏幸先生（芝スポ指導者）等が指導者に加わり、お子さんも始めてくれるようになりました。また、当クラブから育った藤井正幸先生、子供と始めた秋元享先生、三田太一先生等指導者が充実いたしました。そのお陰で本年の市の小学生大会で、念願の団体優勝、個人入賞を多数出すことが出来ました。保護者共々感謝致しております。

【クラブのモットー】

当クラブは、基本と礼儀を大事にし、先哲等語録、剣道理念等、修練の心構えの素読等「混然中処」「脚下照顧」「継続は力なり」

【彩の国清武杯剣道大会】

基本と礼儀を大事にした清武杯剣道大会を実施中（別頁の慶武館を参照下さい。）

【指導者】

師 範：教士7段＝永松孝孝・己ノ瀬弘司
 副師範：錬士6段＝永松富士恵・堀川智子・内田雅之・石井宏幸
 5段＝藤井正幸・二瓶剛

【稽古日及び稽古場所】

毎月曜日：午後8時から9時（中学生～大人）
 参加者全員の廻り稽古
 越谷西中学校武道場



萩島剣道クラブ創立20周年記念大会（平成7年11月）



萩島剣道クラブ創立25周年記念大会（平成12年11月）

毎水曜日：午後7時から9時（幼稚園～大人）
 越谷萩島小学校体育館

毎土曜日：午後7時から9時（幼稚園～大人）
 越谷西中学校体育館

【クラブのホームページ】

萩島剣道クラブ慶武館のホームページは、<http://ogiken.rer.jp/> です。稽古の予定等を見て、御指導や稽古にお越し下さい。（文責：永松孝孝）